

水車・発電機の組立

センターリング：芯を決める作業、水車発電機の軸をまっすぐに据付ける必要があることから、ピアノ線を使って3/100mm以内に調整します。



インサイドマイクロメータを使って精度の高い組み立てを熟練の腕で・・・



芯が決まれば、その位置を固定する作業



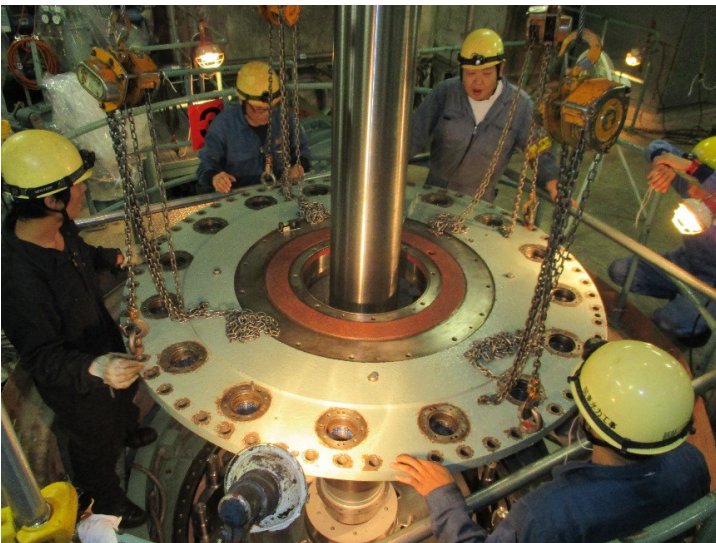


水車の組み込み

メーカー工場で修理が完了したランナー（水車）を吊り込みます。



水を効率よく使うため、固定部と回転部の隙間は1mmしかありません。慎重に慎重に吊り込みます。



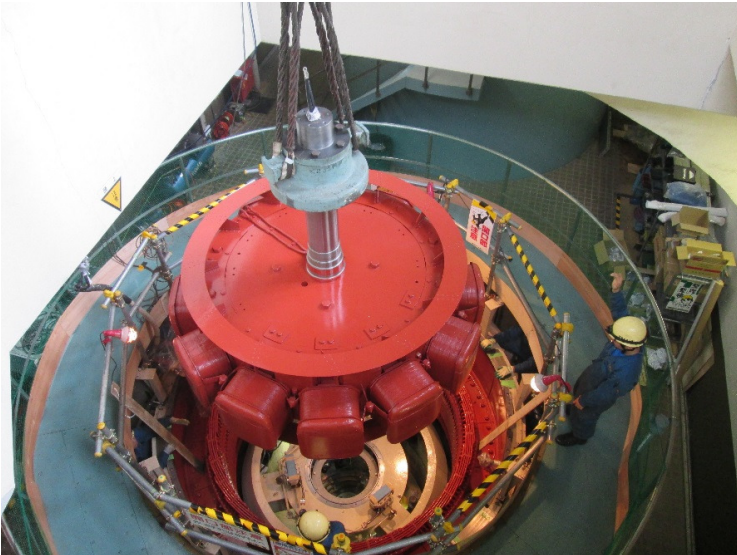
水車カバーの吊り込みです。みんなで声を掛け合って水平に吊り込みます。チームワークが大切です。

発電機の組立

重量 19 t（大きな発電機では 500 t 以上のものもあります）でも重いよね



回転子と固定子の隙間は 10 mm 程度慎重に



隙間に木材で隙間を確保しながら、ゆっくり吊り込みます。

現場ドキュメント（水車・発電機組立）

